



たっぷりと物一に熱を蓄えることができる「味わい鍋」は無水調理も可能な万能鍋。優れた機能性は長年の経験と職人技によるもの

ブランド認定が 追い風になりました

文化軽金属鑄造株式会社
代表取締役
大熊 幸彦 さん



大正6年に創業した弊社は、初代社長のつくった文化鍋に始まり、これまでアルミ鑄物の鍋を世に送り出してきました。その歴史の中、試行錯誤を重ね、改良を加え、ついに誕生したのが「味わい鍋」です。昭和60年に発売し、これまでに販売した数は40万個以上になります。

ロングセラーの理由は、①産地もの、②鑄物の特徴を最大限に生かしていること、③鍋の優れた機能性、が挙げられます。良い商品であることに加え、ものづくりのまち川口で生み出された事実が大きな強みとなっています。

平成21年に商工会議所の「川口iimonoブランド」に認定されたことは追い風になりました。認定前に比べ商談の数は倍増。「iimonoブランドに認定されている製品です」という紹介で購入につながるケースが多く、「産地もの」であることのネームバリューが消費者の心をつかむ大きなポイントになっていることを確信しました。

また、百貨店やテレビ番組などを通じて販売する機会が増え、大口の受注も受けるようになりました。ブランドに認定されたことが、製品を多くの人に知ってもらうきっかけになったと実感していますし、商工会議所の取り組みによって「川口」の知名度が上がり、世間に評価してもらえることをうれしく思います。

昔と違って、モノの良さだけでは生き残れない時代になりました。お客さまの嗜好の変化に伴い、こちらも切り口を転換させなければなりません。弊社の「味わい鍋」には、「川口・鑄物・性能」という3段階の強みがあります。どれも欠かせない要素であると同時に、それぞれを生かすことが重要です。

これからは、地域の事業者と連携し、一体となって川口の鑄物業を盛り上げていくことが必要だと感じています。やってみなければ分かりません。商工会議所のさまざまな制度を活用しながら、地域色を取り入れた新たなビジネスモデルを確立させていきたいですね。

》ご相談は最寄りの商工会議所までお気軽にどうぞ！

担当者からひと言

「川口iimonoブランド」は、優れた製品をブランド認定することで販路の開拓・拡大につなげてもらうと、平成21年に始めました。高い技術力、そして「川口らしさ」を持つ33製品を現在認定しています。

文化軽金属鑄造さんは、ブランド認定によってテレビの通販番組で取り上げられるなど大きな話題となりました。他の企業からも「注目されるようになった」と好評で、われわれも手応えを感じています。

スタートして4年。年々、ブランドの認知度も高まっています。今後はブランドのメリットを明確なものにし、より多くの皆さんに活用いただける当所のメニューとして定着させ、ものづくりのまち川口を全国に発信していきます。



川口商工会議所（埼玉県）
ものづくり支援課
主任・経営指導員
酒井 宏樹